

米奥小だより

令和7年1月8日(水)

No.38

米奥小学校 校長 北添 忠

〇2025年の米奥はうっすら雪化粧のスタート

1月8日(水)、3学期の始業式です。雪が舞うとの予報でしたが、米奥は道路も含め、うっすら雪が積もっていました。多くの児童は保護者の車で登校。積雪は1cmといったところでしょうか。「この積雪では雪合戦は無理かな」と思っていたところ、8時過ぎ、3人の男子児童が雪合戦を始めました。芝や草が多い米



奥のグラウンドは雪を集めるには適しており、すぐに雪玉を作っていました。1時間目の休み時間には、ほとんどの児童がグラウンドに出て雪合戦を始めました。中には子どもの顔くらいある雪玉をつくり、あてる場所を考えながら、

豪快にぶつける児童も。ぶつけられたらぶつけ返す、そのやりとりの中で、友達関係を楽しんでいる子どもたち。地球温暖化の影響か、数十年前と比べると雪の量は減りました。でも、こうして、雪が少ないながらも雪合戦ができるのは嬉しい事です。子どもは遊びを通してお互い



を感じ、人間関係を作っていきます。大人にとっては厄介な雪ですが、子どもたちにとっては大切な雪です。



子どもたちが楽しんだ雪も 10 時頃には溶け、グラウンドには子どもが作った大きな雪玉

がポツンと残っていました。

〇グラウンドの土、約 10 トン

米奥小学校のグラウンドの土が雨で少しずつ流れ、水はけが悪くなり、雨上がりには水たまりも見られるようになりました。そこで、教育委員会にお願いして、グラウンド用の土を大型ダンブー車分（約 10 トン）持ってきてもらいました。今後、少しずつ、必要な場所に土を運んで、水たまりやぬかるみを改善していきます。

